

枚方市と自治労枚方市職員関係労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和8年(2026年)3月4日(水)午後6時30分～午後7時30分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約20名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、教育政策課長、上下水道局総務課長、市立ひらかた病院総務課長、書記(人事課・職員課 課長代理)
4. 課 題 「2026年春闘要求書」に基づく交渉(1回目)

<交渉内容要旨>

I. 給与水準の引上げについて

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 昨今の物価高騰や、民間企業の春闘に関する報道等を鑑みると、全体的な給与水準の引上げが必要と考えるが、改めて賃金に係る見解を聞く。	<ul style="list-style-type: none">・ これまで同様に人事院勧告等の動きを注視し、対応していきたい。

II. 副主幹の登用について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 副主幹については、希望しても登用されないとの認識が広がっており、希望者が減少している。副主幹の登用を増やすことはできないのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 副主幹は、設置が必要な職域に専門的なスタッフ職として設置していることから、今後も職場の声を聴き、配置の必要性を見極めていく。

III. 住居手当の整備について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 住居手当について市内居住者に対する支給額の改善を図ること。	<ul style="list-style-type: none">・ 住居手当については、手当の趣旨を踏まえた制度運用を図るよう国から助言がなされているところであり、慎重に検討していく必要があると考えている。

IV. 総合評価制度について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">・ 業績評価に係る評価シートは、作成に時間を要し職員の負担となっている。非管理職も業績評価を実施する必要があるのか。・ 会計年度任用職員は監督的な職種もあり、一般的な評価項目だけでは作成しづらいため、職種に応じた柔軟な項目設定が可能にできないか。	<ul style="list-style-type: none">・ 評価制度は、業績に応じた評価であるべきであり、職員ごとの業務内容に応じた柔軟な目標設定が可能となっていると認識している。・ 総合評価が制度の趣旨に則って円滑に実施できるよう現状把握に努め、必要に応じて改善に向けた協議を行っていく。

V. 係長・監督の処遇について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> 統括的役割の係長と監督について、一時金の役職加算率が引き上げられることとなったが、満足はしていない。もう一步踏み込んだ処遇改善の検討を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 当面はこの処遇で対応していきたいと考えているが、係長の職制に関しては引き続き、状況の把握を行いながら、整理に努めていく。

VI. 時間外勤務の縮減について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> これまでから恒常的に時間外勤務が発生する職場について状況の改善を求めており、同じ職場においても、時間外勤務が多い職員がいる一方で、平準化が十分にできていない部分があると感じているが、見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務が増加している部署について聴き取りを行ったところ、システムの標準化や年度途中の退職者など、様々な要因があった。係間の応援体制など業務の平準化に向けた取り組みを提案しており、今後も長時間労働の縮減に努める。

VII. 技能労務職について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> 5か年計画が終了し、今年度はかなり期待をしていたが作業員の採用は無かった。現業職場では、職員の高年齢化が進み、年齢構成が歪になっている。知識や技術の継承の観点からも、新規採用の再開を強く求めるが、現業職の採用について見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢構成や技術の継承といった観点は十分考慮すべきと考えている。来年度以降の採用について、現時点で示せるものはないが、各職場の状況や退職者数の状況なども踏まえ、総合的に判断していく。

VIII. 非正規職員の採用・処遇について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校図書館において、通年で学校司書を1校専属で配置することを早期に実現する必要があると考えるが、採用の状況はどうか。 監督的な業務を担っている留守家庭児童会の職員など、モチベーション向上のためにも非正規職員の処遇改善が必要と考えるが、見解を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 市長の令和8年度市政運営方針においても配置校の拡大に取り組むこととしており、早期の実現を目指す。 今後も引き続き協議を重ねながら検討していきたい。